

第4期事業年度

(平成19年度)

決算報告書

国立大学法人 帯広畜産大学

平成19年度 決算報告書 (第4期事業年度)

国立大学法人 帯広畜産大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収入				
運営費交付金	3,216	3,003	△213	(注1)
施設整備費補助金	716	716	0	
補助金等収入	55	45	△10	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	0	22	22	(注3)
自己収入	850	919	69	
授業料、入学料及び検定料収入	737	775	38	(注4)
雑収入	113	144	31	(注5)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	606	830	224	(注6)
計	5,443	5,535	92	
支出				
業務費	2,937	2,877	△60	
教育研究経費	2,937	2,877	△60	(注7)
一般管理費	1,129	924	△205	(注8)
施設整備費	716	738	22	(注9)
補助金等	55	45	△10	(注10)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	606	763	157	(注11)
計	5,443	5,347	△96	
収入－支出	0	188	188	

- 支出の教育研究経費及び一般管理費には、前年度からの運営費交付金繰越額のうち使用額73百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として運営費交付金に相当額を計上しています。
- 支出の産学連携等研究経費及び寄附金事業費等には、前年度からの繰越額のうち使用額67百万円を含んでいます。また、それに対応する収入として産学連携等研究収入及び寄附金収入等に相当額を計上しています。
- 支出の教育研究経費には、損益計算書上の教育経費、研究経費、教育研究支援経費、教員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。また、支出の一般管理費には、損益計算書上の一般管理費、役員人件費の全部及び職員人件費の一部を含んでいます。

○ 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、退職手当支給者数が見込を下回ったため、前年度からの繰越額の使用額分が予算額に比して決算額が213百万円少額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、国からの補助金の獲得額が見込額を下回ったため、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注3) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、予算段階では予定していなかった交付金を受け入れたため、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注4) 授業料、入学料及び検定料収入については、主として受験者数及び在籍学生数が見込数を上回ったため、予算額に比して決算額が38百万円多額となっています。
- (注5) 雑収入については、主として家畜病院の診療体制の強化に努めたこと等により、予算額に比して決算額が31百万円多額となっています。
- (注6) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国等からの受託研究の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が224百万円多額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、退職手当支給者数の減及び予算段階では予定していなかった任用計画の見直しによる人件費の減少等により、予算額に比して決算額が60百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、退職手当支給者数の減及び経費の節減に努めたことによる管理経費の減少等により、予算額に比して決算額が205百万円少額となっています。
- (注9) 施設整備費については、(注3)に示した理由により、予算額に比して決算額が22百万円多額となっています。
- (注10) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。
- (注11) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注6)に示した理由により、予算額に比して決算額が157百万円多額となっています。